

令和2年5月8日

浜松市長
鈴木 康友 様

浜 松 市 議 会
市民クラブ 所属議員一同

新型コロナウイルス感染症に対する提言（2）

世界では新型コロナウイルス感染に対して経済活動を再開する国が出てきている状況にあるが、日本においては未だ感染拡大が収束していない都道府県があり、国は5月31日までの緊急事態宣言の延長を決定した。一方静岡県は感染拡大が収束に向かいつつあるとの判断のもと、新しい生活様式の徹底を前提に制限が一部緩和された。

本市においては4月8日以降、約1か月新たな感染者が出ていないことなどを鑑みて、本市独自の休業要請は5月7日から解除となったが、一方で休業要請解除については心配する声も聞かれる状況にある。

今後においては、市民の安心・安全を確保するため、これまでと同様に感染防止対策を継続する一方で、これまでの外出自粛要請により大きな影響を受けている観光・飲食を中心とした経済の回復という両者をバランス良く対応していく必要がある。

そのために私たち市民クラブは、4月16日に提出した緊急提言に引き続き下記の提言を行うものである。

記

1. 特別定額給付金の早期支給対応について

5月8日から、早期に支給が必要な世帯の方を対象とした早期特別申請が行われるにあたり、例えば、支援を急ぎ必要としている方々とのつながりを持つと思われる各種団体等に協力をお願いするなど、この早期特別申請の周知を徹底すること。

2. 各種申請に関する相談窓口の設置と充実について

多くの小規模事業者にとって雇用調整助成金申請等についての理解・書類作成が難しいなどの状況への対応のため、電話無料相談に加え、法律専門家を配置した対面相談窓口の設置ならびに相談費用の助成を行うこと。

3. 休業要請解除に伴う事業者への支援について

事業再開にあたって感染防止への取り組みは必須であり、事業者には入場時の手指消毒対応、対面する場でのマスク・フェイスガードの装着、間仕切り等の設置等の対策が求められる。しかし、未だアルコール消毒液を始め、様々な機材が簡単には入手出来ない現状となっている。ついては、事業者が再開にあたって感染防止対策を徹底できるように消毒液やマスク・フェイスガード、間仕切り設備などの販売斡旋や購入補助を行うこと。

4. ふるさと納税の寄付金の活用による財源確保について

ふるさと納税の寄附金の活用を希望する政策メニューの選択肢に新型コロナウイルス感染症対策を加え、過去に寄付してくれた方への案内を強化し、財源確保を推進すること。

5. 予備費を使った教育用の動画等の配信について

4月30日に通達された予備費の使途として、教育関連では子どもたちの学びの保証として学習支援のための動画制作が事業の一つになっている。動画の作成・配信のスケジュール、事業内容等の具体的な計画を早急に策定し、児童・生徒・保護者に提示すること。

6. 図書貸し出しの早期再開・電子図書館の充実について

本を読むことを楽しみにしている方々のため、小中学校の休業期間に読書をしたいと望んでいる子どもたちのために、消毒の徹底ならびに入館人数を限定するなどの3密を防ぐ対策を取った上で、図書の貸し出し業務を早期に再開すること。

本を借りる手段として浜松市電子図書館の増強・充実を図ること。

7. 雇用におけるマッチング対策

新型コロナウイルス感染症の影響により雇用を失った労働者や新卒内定取消者など雇用不安が増大している。半面新型コロナウイルス感染症の影響を受け人材が不足している企業もあることから両社のマッチングを含め、浜松市独自の雇用創出をすること。

8. 浜松市による臨時雇用

雇止めや内定取り消し等により職を失った方を臨時職員として採用し、新型コロナウイルス感染症関連業務（公共施設の手すり、ドアノブ、ボタンなど人が触れる場所の除菌作業や混雑緩和に向けた案内要員の配置など）を実施すること。

9. 介護施設への支援について

感染防止のため施設や職員への衛生用品（マスク、アルコール消毒液等）の優先的な販売斡旋や購入補助を行うこと。

10. 医療従事者等への支援について

新型コロナウイルス感染症への対応や市民生活を支えるために多忙を極めている医療・介護従事者、物流、生活インフラに関わる仕事をしている方への支援として、ベビーシッターや家事支援サービスなどの利用クーポン配布を行うこと。

以上